

南関東のページ

東芝争議の全面解決へ

横浜で共闘会議が決起集会

労働組合活動や思想信条を理由にした差別など「東芝争議の全面解決を」かちとる決起集会」が十一月三十日、横浜市鶴見区で開催されました。東芝争議支援共闘会議の第三回総会も行われ、方針を確認しました。現役労働者、OB、神奈川労連、東京地評など四百人を超す参加者は、決議を確認し運動をさらに広げる決意を固めました。

東芝争議は二〇〇一年第一次県労委、〇四年第一次中労委、〇六年第二次中労委と三連続で勝利命令が出され、来年には第二次中労委(申立人九人)の結審を迎えます。岩村智文弁護士が到達点を報告し、同共闘会議の岡本一事務局長が方針を説明。たかひをさらに強めるために第三次の申し立て準備などをすすめてきたことを紹介しました。各労委の差別是正命令が、東芝の労組への支配・介入や組合活動を理由とした待遇差別の是

正と組合活動の自由の保障を命じていることを力に「第二次中労委での全面勝利命令と争議の早期全面一括解決をかちとる」と訴えました。また、東芝の反社会的な行為などを告発し、東芝を社会的に包囲する運動を広げることが提起しました。

東芝の現役労働者やOBらが差別の実態を「三十六年で十回配転させられた」「賃金を勝手に一万円下げられた」「産後復帰したら小窓一つの暖房もないほりだらけの倉庫へ配置された」などと告発しました。

申立人と家族、新たな申立人らが壇上にあがり決意を訴えました。

全労連の中山益則常任幹事と日本共産党の、はたの君枝衆院南関東プロック比例候補(元参院議員)があいさつし、笠木たかし衆院神奈川10区候補、中島文雄横浜市議、佐野仁昭・宮原春夫の両川崎市議が出席しました。



壇上で決意をのべる申立人ら(正面)と拍手で激励する参加者—11月30日、横浜市鶴見区